

## 日本BEAシステムズ他

### 「Java Technologies for Telco (JT4T) 推進委員会」を設立

日本BEAシステムズ、サン・マイクロシステムズ、日本電気(NEC)、アイログ、沖電気工業、日本オラクルは、通信業界におけるJava技術の活用、推進を目的とした「Java Technologies for Telco 推進委員会 (JT4T)」の設立に向けて、準備を開始したことを発表した。

本推進委員会では、サービス基盤、オペレーション基盤におけるJava技術の本格的な活用を目指して、市場動向の調査、技術検証、ユーザー企業向けコンサルティング等を行うことで、市場の拡大に貢献していく。また今後は、ハードウェア・ソフトウェア製品ベンダー、システムインテグレーター、通信キャリア、サービスプロバイダー、コンテンツプロバイダーからディベロッパーに至るまで、Java技術に関連する企業に対して、本推進委員会への参加を募っていく。主な活動は次の通り。

テレコムOSS/BSS分野におけるJava技術の適用性の共同検証、サービスデリバリー基盤(SDP)におけるJava技術の適用性の共同調査・検討、事業者間連携、異業種連携におけるJava技術の利用場面の検討・検証等がある。

日本BEAシステムズ：03-5545-8400 /  
サン・マイクロシステムズ：03-5717-5717 /  
NEC：03-3798-6511 / アイログ：  
03-5211-5770 / 沖電気工業：  
03-3580-8950 / 日本オラクル：  
03-5213-6144

## 岩崎通信機/シラントロシステムズコーポレーション

### 包括的業務提携について基本合意

岩崎通信機(以下、岩通)と米シラントロシステムズコーポレーション(以下、シラントロ)は、法人向けIP電話ソリューションの提供に関して、幅広く業務提携することを合意した。今回、法人向けIP電話ソリューションに関して広範に業務提携することにより、両社のビジネス拡大に大きな効果をもたらすことが期待できる。両社は今後、提携の具体的な内容を協議し、法人向けIP電話ソリューションの分野において共同して事業を展開していく。両社の提携の概要は以下の通り。

岩通製フルIP電話システム「NetSpeak」ファミリーに大規模企業向けソリューションとしてシラントロのホステッド型PBXを追加する。

なお、このシステムは、NETWORLD + INTEROP 2004 TOKYOにおいて岩通ブースに出展された。

岩通製IP電話システムに、シラントロが米Polycom社等と推進しているビジネス電話機能のためのSIP仕様を実装する。

統合型IP電話ソリューションの実現に向けて、シラントロ製SIPサーバが岩通製IP電話端末、既存PBX端末、携帯型端末を一括管理できるよう製品の改良または新規開発を行う。

必要に応じ、シラントロは岩通に対してホステッド型PBXに関わる技術支援を行う。

岩崎通信機：03-5370-5112 / シラントロシステムズコーポレーション：03-5770-3270

## 日立インフォメーションテクノロジー/NTTコムウェア東海

### IP電話システムの販売、開発で協業

日立インフォメーションテクノロジー(以下、日立IT)とNTTコムウェア東海は、日立ITの「SIP:OFFICE」を販売し、共同でアプリケーションを開発し、両社が販売することに合意した。

日立ITは、SIP技術を採用した通信費等のコスト削減が可能で、様々な業務アプリケーションと連携が容易なIPコミュニケーションプラットフォームであるSIP:OFFICEを開発し、昨年10月から販売していた。一方、NTTコムウェア東海は、以前からNTTにおける通信システムや情報システムの開発をはじめとした業務アプリケーションの豊富な開発実績をもっている。今回両社は、SIP:OFFICEの販売、そして双方の技術力を

融合してIP電話システムを共同で開発することとなった。日立ITが提供するSIP:OFFICEのAPIを使用して、NTTコムウェア東海のノウハウを活用したアプリケーションを組み合わせることで、企業のニーズに迅速に対応し、生産性の向上をもたらすシステムを共同で開発していく。その第一弾としてNTTコムウェア東海は「通信費分析システム」を開発し、日立ITとともに販売を開始した。このシステムは、SIP:OFFICEのCD-R情報を提供するAPIを使用して稼動することにより、多彩な分析機能を利用でき、利用状況監視等が行え、さらなるコスト削減が可能である。

NTTコムウェア東海：052-684-2222 / 日立インフォメーションテクノロジー：03-5435-7605

## 日本コムシス

### 社内安否システムや、FOMA を活用した防災演習を実施

日本コムシスは、本年4月に東海エリアを震源とする地震を想定した防災演習を実施した。今回の防災演習は、日本コムシスが自社で開発した「災害時社員安否確認システム」、「災害対策支援システム」、およびNTTドコモの「FOMAビジュアルネット」のシステムを活用して、迅速に社員の安否を確認し、災害時の顧客企業への対応を徹底することを目的としたものである。

日本コムシスは、まず防災演習において災害時社員安否確認システムを用いて、本社勤務社員への安否確認を実施。同システムは、事前に登録してある社員の電話番号へ災害が発生したことを通知し、メッセージを聞いた社員は社外から携帯電話やインターネットで各

個人の状況を同システムに入力するので、速やかに各社員の状況を把握することができ、収集された社員情報を災害時の顧客企業への対応などに役立てることができる。また、通信インフラ設備の災害復旧を円滑に行うために、FOMAビジュアルネットを活用して復旧作業が必要な場所の現状を画像で確認する訓練や、全国にあるコムシス全支店が被災により孤立することがないように衛星携帯電話を配備し、全支店への接続確認試験を行った。今後、日本コムシスでは、今回の防災演習の実証を踏まえ、災害時に日本コムシスの社員が顧客に対して迅速かつ冷静に対応できるような災害対策体制を整えていく。URL：<http://www.comsys.co.jp/>

## 日商エレクトロニクス

### 米 Zultys 社と独占販売代理店契約を締結し、SIP メディアサーバ「MX シリーズ」を販売開始

日商エレクトロニクスは、IPテレフォニー事業の強化を目的として、米 Zultys (ザルティス) Technologies 社と独占販売代理店契約を締結し、SIPメディアサーバ「MXシリーズ」の販売を開始した。

MXシリーズは、IPテレフォニー構築で必要とされるPBX機能(局線収容、自動応答、ボイスメール、ACD、ページング)、VoIP Gateway機能、アプリケーションサーバ機能(インスタントメッセージ、プレゼンス、電話帳、Logging)をオールインワンタイプで提供するSIPメディアサーバ型のシステムである。コンパクトなボックスを分散配置するため、1拠点5人から250人、

またはクラスタ構成にて1,000人規模のIPテレフォニーの構築が可能である。またMXシリーズは、全ての機能をひとつのサーバで提供するため、低価格で高いコストパフォーマンスを実現することができる。例えば、200人規模のIPテレフォニー構築では、投資コストを従来の半分に抑えることができる。さらに、管理者用ソフトウェア「MxAdmin」を利用することで、集中管理とGUIベースの操作画面により、高度な知識がなくても設定から管理までの全ての作業を容易に行うことができ、クライアントソフトウェア「MXIE」を利用することで、PCと電話の統合利用においても簡単に操作することができる。  
< TEL : 03-3544-8422 >

## ジインズ

### OSS ベースのキャッシュバランス型企業年金管理システム「KIZAN」

FreeBSD、Linux、PostgreSQL、MySQLなどをベースにしたWebシステム開発で多くの実績を持つジインズは、OSS(オープンソースソフトウェア)ベースのキャッシュバランスプラン(CB)を中心とした企業年金管理システム「KIZAN(機山)」を開発・販売している。

本システムは、OSSであるLinux、PostgreSQLをベースにしたWebシステム。JAVA、Flashなどで開発されており、Windowsサーバでも稼働するマルチプラットフォーム型となっている。企業合併や分社化などダイナミックな変化に即応できるモデルを用意している。機能的には、仮想残高管理、経過措置、前払いなど基本的な機能に加え、年金シミュレーション、将来分析、Webによる個人開示など、経営戦略、人事政策からみた機能も用意している。

また、担当部署や担当者以外のアクセス利用者のアクセスログを管理することにより社員のプライバシーを保護するといったセキュリティ機能も搭載している。

すでに大手鉄鋼メーカー系商社にて本格稼働している。多くのお客様に利用していただくため、機能別に、TYPE ~ の3つのモデルを用意し、コストダウン、短納期といった顧客ニーズに対応している。同社では、新規年金管理システム、他の開発言語やDBMSなどによる開発の受注も行っている。

< TEL : 055-220-2580/03-3262-3557 >